



令和8年度富士市男女共同参画推進事業  
富士発・女（ひと）と男（ひと）のフォーラム

# CEDAW セダウ 女性差別撤廃条約を知ろう！ PART 2

「世界の女性の憲法」と呼ばれる  
女性差別撤廃条約を知っていますか？

2026年は、日本が国連女性差別撤廃条約（Convention on the Elimination of Discrimination against Women : CEDAW セダウ）を  
批准して41年となります。今年度は、男女共同参画に関わる同条約  
選択議定書（＝OP-CEDAW）と一緒に学びましょう。

12月12日（土） 20:00～21:30

オンライン（Zoom）受付 19:40～

講師 Bimnet代表・水野けいこ（ジェンダー課題の市民活動者）

対象・定員：ご関心があるどなたでも 30人  
（応募者多数の場合は抽選）

申込み／12月6日（日）までに、市ウェブサイトで電子申請

お申込みはこちら⇒  
スマホをかざしてください  
または下記へ電話かメールでどうぞ。



問い合わせ：Bimnet 水野 090-7177-4863 [kemiz@ymail.ne.jp](mailto:kemiz@ymail.ne.jp)

主 催  
Bimnet・きらり交流会議 (富士市男女共同参画ネットワーク)  
富 士 市





## ✿ 女性差別撤廃条約とは ✿

正式名称：女子に対するあらゆる形態の差別の撤廃に関する条約  
略称は女子差別撤廃条約。一般的に、女性差別撤廃条約が使われている。  
Convention on the Elimination of Discrimination against Women : CEDAW  
英語の略称から「セダウ」とも言う。  
社会的な結果として平等が実現される実質的平等の達成を目的としている。  
1979年12月18日に、国際連合第34回総会で採択され、1981年に発効した。  
日本は、1985年に批准した。2024年現在、189か国である。

## ✿ 女性差別撤廃条約選択議定書とは ✿

女性差別撤廃条約の**実効性**を高める国際的文書。  
正式名称：女子に対するあらゆる形態の差別の撤廃に関する条約の選択議定書  
Optional Protocol to the Convention on the Elimination of All Forms of  
Discrimination against Women: OP-CEDAW  
英語の略称から、OP-セダウとも言う。  
1999年国連で採択。2023年までに114か国が締約。  
日本はまだ批准していない。  
2000年から2026年現在に至るまで全国の地方議会（都道府県議会や市町村議会）  
では、国に対して速やかな批准を求める意見書の提出が相次いで行われている。  
2026年7月現在、450議会。  
静岡県では、焼津市の次に富士市議会は2021年9月に意見書を提出している。

## Bimnet（ビムネット）とは

代表の水野が1995年ネパールの友人と作った。当初「大人の女性の学び」を支援する小さなグループだった。ネパールで互いに支援し合った友人ビマラを忘れないために、ビムネットとした。現在は、ジェンダー平等の課題に取り組む市民活動ユニット。

